

うつのみや



社協だより

平成25年10月1日 発行

編集発行 **150号**

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856

<http://www.utsunomiya-shakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

ボランティアワークキャンプ from 宇都宮 to 宮城 高校生の力を被災地へ!!



1 2
3 4



1. 慰霊碑を見学する様子
2. 1日目の振り返りの様子
3. スープ餃子を振る舞う様子
4. メッセージを交換しあう様子



市内に在住または通学している高校生、及び被災地から市内に避難してきている高校生を対象として、宇都宮市社会福祉協議会と包括連携協定を結んでいる宇都宮大学との共催により、「高校生被災地復興応援プロジェクト～ボランティアワークキャンプ from 宇都宮 to 宮城～」を実施し、宇都宮の高校生のパワーを被災地に届けてきました。

宇都宮市社会福祉協議会では、これからの地域福祉の担い手である高校生や大学生など「学生」を対象としたボランティアプログラムを提供し、活動を応援していきます。

“うつのみや社協だより”は、「回覧」です。よろしくお願い申し上げます。

ボランティア
情報コーナー



2013
8/31
(sat)

2013
9/1
(sun)

高校生 13 名・宇大生 15 名が参加

“聞いて、感じて、考えて、行動すること”

～ボランティアワークキャンプ from 宇都宮 to 宮城～



～農地の復興～（仙台市）

2年半が経過してもなお爪痕の残る津波被害の現状を目のあたりにしつつ、スコップを持ち、畑を掘り起こしてガレキを拾う活動を行いました。



～夏まつり交流会～（東松島市）

「ともに参加し、創り上げること」をテーマに開催した夏まつり交流会には、現地の高校生や仮設住宅住民の方々にも主体的にご参加いただき、共感を深めることができました。

震災を忘れない
-Remember 3.11-

東日本大震災が発生してから2年半が経過しましたが、現在でも各地で支援活動が続いています。このコーナーでは「震災を忘れない」をテーマに、様々な復興支援活動を紹介していきます。

今回は、ボランティアワークキャンプでも活躍した、宇都宮大学の学生が携わっている「ともしびプロジェクト宇都宮支部」の活動について特集しました。

ともしびプロジェクト

全国から被災地へ！希望の明かりを灯し続けよう！ ～宇都宮大学でミニ講演会開催～

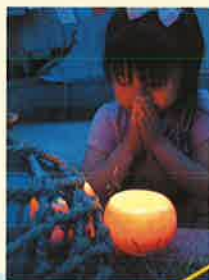


プロジェクト発起人の杉浦恵一さん

「忘れられることが一番怖い…」被災地気仙沼市で住民の方が発した言葉です。被災地を想いそれぞれの場所で、毎月11日にキャンドルに明かりを灯すことで東北から日本を、さらには世界を繋ぐアートイベントプロジェクトが行われています。

7月16日、プロジェクトの発起人である杉浦恵一さんが宇都宮大学を訪れ、ご自身の被災地でのボランティア活動や、ともしびプロジェクト誕生の経緯、ボランティアのあり方などについての講話がありました。

杉浦さんの話に真剣な
まなざしで耳を傾ける
宇都宮大学の学生たち



東日本大震災から2年半が経過した今も被災地は復興の真っ只中。キャンドルづくりを気仙沼の主婦の方々に行ってもらうことで、手仕事にも繋がっています。

毎月11日、みんなと一緒に
キャンドルに明かりを灯そう。

「忘れないをカタチに」

プロジェクトの詳細は

ともしびプロジェクト

検索



福祉教育
シリーズ

共育

第8回

ボランティアセンターでは、子どもから大人までお互いに学びあい、教えあい、共に成長していく力を育む「福祉共育」を推進しています。今回から、肢体不自由についてご紹介していきます。

身体障がい — Part. 1 —

『肢体に障がいのある方の理解』

♥肢体不自由ってどんな障がい？

病気やケガなどの原因により、上肢（腕や手）・下肢（脚）・体幹（胴体やその筋肉）の機能に不自由を伴う障がいです。脳や脊髄・末梢神経、筋、骨などが損傷を受けることにより「座る」「立つ」「歩く」といった日常生活上の動作が困難になります。移動の際には、補助のため「車いす」「杖」「歩行器」「装具」などを利用している方もいます。また、字を書くなどの細かい動作や会話が困難なこともあります。

このマークをご存知ですか？



障がい者が容易に利用できる建物・施設であることを明確に表すためのマークです。マークの使用については、国際リハビリテーション協会の『使用指針』に建物規定などが定められています。

※すべての障がい者を対象としており、特に車いすを利用している障がい者を限定し使用されるものではありません。



運転免許に条件がある肢体不自由の方が運転する車に表示するマークです。やむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定により罰せられることになります。

※四葉のクローバーは『幸福の象徴』で、葉の形が人の優しさを表す『ハート』になっています。

心がけましょう！まちでのマナー ♥

多機能トイレには、車椅子でも入れるように広いスペースがあり、手すりも付けられています。排せつに時間が必要な方もいますので、「ちょっとした時間だから」といって健常者が利用してしまうと、本来必要な方が利用できずに困ってしまいます。

「思いやりのこころ」と「ゆずりあいの気持ち」をもって、利用しましょう。

▶多機能トイレ



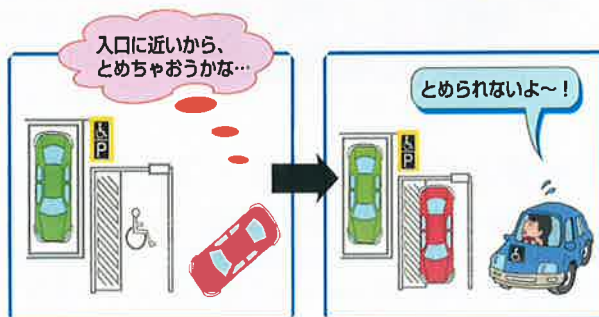
障がい者優先駐車場

障がい者優先駐車場は、車のドアを広く開けて車いすなどの補助具の出し入れや介助がしやすいよう、また乗り降りしやすいよう、ゼブラゾーン（乗降スペース）が取られています。



ゼブラゾーンに駐車してしまうと、車いすを使用している方の乗り降りや、介助の妨げとなってしまいます。

いつでも必要とする方が車を停めることができるよう、心がけましょう。



地区社協活動紹介コーナー

各地区社協が取り組んでいる地域福祉活動(事業)について、ご紹介します。

《お問い合わせ》地域福祉課
TEL 636-1215
FAX 637-2020



清原地区 社会福祉協議会

清原地区は、市の東部に位置し鬼怒川左岸の平坦地とその東部台地からなり、南は真岡市、北は高根沢町、東は芳賀町に隣接しています。市内でも有数の畑作地帯で、梨、りんご、洋蘭等の栽培が盛んです。また、県内屈指の大きさを誇る清原工業団地を有し、テクノポリスセンター地区の整備も進むなど、産・学・住・農・遊のバランスのとれた暮らしやすい地区です。

～ふれあい・いきいきサロン13か所で展開中～

それぞれのサロンでは体操・卓球・手芸等、様々な活動が行われています。また、事業所(高齢者施設等)と地域(サロン)を繋ぐ「清原地区ネットワーク」が整備されており、施設とサロンにおいて体操用具等の貸出しや相互にボランティアの派遣等も行っています。



いきいきサロン(サロン)



福祉協力員連絡会総会

～福祉協力員連絡会の活動～

福祉協力員の主体的な活動を促進するために福祉協力員連絡会を組織し、地区社協等と密に連絡を取りながら、様々な地域福祉事業を積極的に展開しています。特に要援護者に対する見守り・声かけ活動による「地域見守りネットワーク」の構築、さらに、ふれあい・いきいきサロンの運営や安心・安全情報キット配付事業など、地域住民が安心して暮らし続けることができる「地域づくり」に組織的に取り組んでいます。

※ふれあい・いきいきサロンとは…高齢者や障がい者、児童や子育て世代の親子など地域の方々が、自宅から歩いていける場所に気軽に集い、お茶会やレクリエーションなどのふれあいを通して、仲間づくりの輪を広げる交流の場です。

緑が丘地区 社会福祉協議会

緑が丘地区は、市の南部、東武宇都宮線江曾島駅の南に位置し、栃木街道・東武宇都宮線・緑が丘通りが地区を3分割するように南北に走り、交通の便利な地区となっています。市の都市計画により、新興住宅地として急速に発展しましたが、現在は高齢化が進んでいます。

地域全体は閑静な住宅地として落ち着いた雰囲気のある、住みやすい地区となっています。



「緑さわ会」会食の様子

～和気あいあい！「緑さわ会」大人気!!～

毎月、ひとり暮らし高齢者をお招きし、福祉協力員・自治会・民生委員児童委員協議会などの皆さまのご協力のもと、ふれあい会食会「緑さわ会」を開催しています。毎回多くの方にご参加いただき、「楽しかった！」「また来月楽しみにしてるよ！」とたいへん喜んでいただいています。食材や食べやすさに工夫を凝らした、季節感のある献立はとてもおいしいと好評で、参加者同士のおしゃべりも弾んでいます。

～安心の輪、広まる！「安心・安全情報キット」～

高齢者世帯の多い緑が丘地区では、地域の見守り活動の一環として、安心・安全情報キットの配付を積極的に進めています。地域見守り会議等を通じて地域の様々な団体・支援者との連携を持ちながら、キットをきっかけとして、見守り・声かけ活動を行うことで、だれもが安心・安全に暮らせるまちづくりを進めています。



安心・安全情報キット



富士見地区 社会福祉協議会

富士見地区は、市の中心部よりやや西部に位置し、西側に宇都宮環状線が、東側に桜通りが通っており、交通の便が良い地区です。地区周辺部には文化会館や市立図書館があり、また、障がい者の就労を支援する栃木障害者職業センターや、障がいのある子どもに様々な療育を提供する子ども発達センター（保育園・子育てサロン併設）があり、公共施設・福祉施設が充実している地区です。

～みんなで作るふれあい会食会～

毎月1回地域のひとり暮らしの高齢者をお招きし、富士見地域コミュニティセンターで、会食会を行っています。毎回、多くの方々にご参加いただき、福祉協力員の皆さまのご協力により、手作りの食事が提供され、参加者にたいへん喜ばれています。また、地域包括支援センターの職員による健康講話を聞いたり、食事をいただくまでの間に体操を通して交流を深めたり、有意義な時間を過ごしています。



会食会の様子



車いす体験の様子

～地区開催の文化祭への参加、協力～

毎年11月第1週の土日に富士見地域文化祭が開催されます。地区社協では福祉コーナーを設け、地域の方々を対象にした車いす体験の実施や、地区社協活動パネルの展示などを行っています。福祉の学びを通じて交流を深めるイベントとなっています。

ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の推進のために 食中毒・食品衛生等講習会を開催しました。

「ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業」を安心して楽しく実施していただくために、食中毒・食品衛生等講習会を開催し、地区社協をはじめとする95名の協力者の方々にご参加いただきました。

「食中毒・食品衛生について」保健所の片柳氏にご講演いただき、食中毒防止のための基本的な知識を得ることができました。また、「ふれあい会食会の実施状況について」細谷地区福祉協力員連絡会会長の上澤悦子氏にご講演いただき、他地区のふれあい会食会について知ることができ、たいへん有意義な講習会となりました。

食品衛生講習会等を独自に開催している地区もあり、会食事業では衛生面に注意していただきながら安心・安全な食事が提供されています。



【お詫びと訂正】

社協だより7月1日発行（149号）5ページ掲載の地図において、「国本地区」の位置標記に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正させていただきます。

誤



正



障がい者福祉センターからのご案内

当センターで開催している各種講座受講生の作品を、下記のイベントで展示いたします。

- 「カルフルとちぎ2013」
会場：とちぎ福祉プラザ
期日：平成25年11月1日(金)～2日(土)
- 「宇都宮市民福祉の祭典」
会場：市総合福祉センター 2・3階
期日：平成25年11月23日(土) 勤労感謝の日
- 「宇都宮市民プラザ展」
会場：表参道スクエア 5階
期日：平成25年12月9日(月)～12月20日(金)



書道

みなさまのお越しを
お待ちしております



パンフラワー

《お問い合わせ》 宇都宮市障がい者福祉センター(総合福祉センター 2階) TEL639-1050 FAX639-1052

ファミリーケアサービス

ご利用ください
社協の福祉
サービス♪

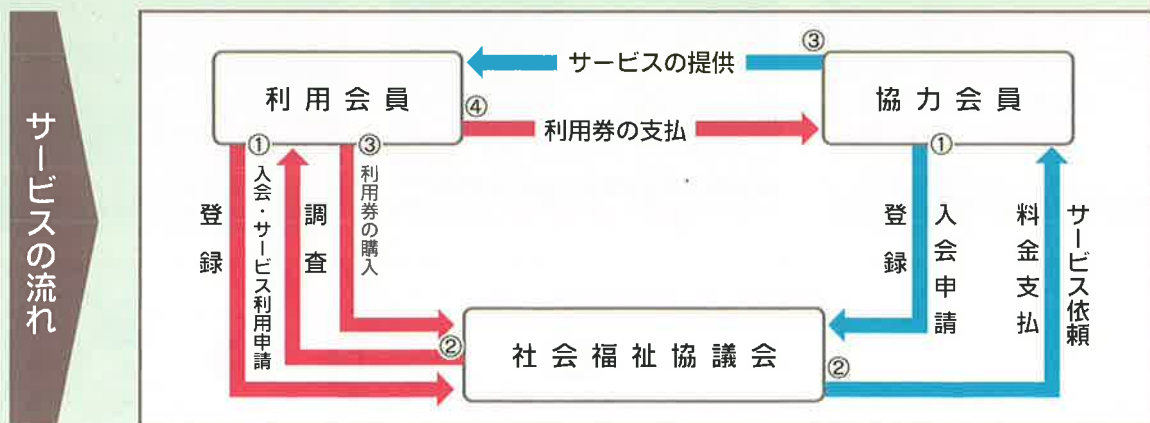
家事援助などのサービスを希望する「利用会員」とサービスを提供する「協力会員」で構成する住民参加型在宅福祉サービス[※]です。

- 利用対象者 家事援助を必要としている高齢の方、障がいのある方、妊産婦
- サービス内容 食事の準備や後片付け、衣類の洗濯、住居の掃除、生活必需品の買い物等
- 利用日時 月曜日～金曜日(午前9時～午後5時)
- 入会金 会員制のため、入会金が必要です。
利用会員 3,000円 協力会員 1,000円
- 利用料金 1時間につき、860円



※住民参加型在宅福祉サービスとは…

「自分たちの住まわちを自分たちの手で住み続けられるようにしたい!」という住民の思いを形にした住民自身による地域福祉活動です。サービスを利用する人も提供する人も同じ地域に住む住民同士。“みんなで互いに助け合っていこう”という趣旨で行われ、高齢になったり、障がいがあっても住み続けることのできる地域づくりを担うことに、その目的があります。



《お問い合わせ》 福祉サービス課(総合福祉センター 5階) TEL636-1215 FAX610-6605

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金

～自分たちが暮らすまち、自分たちが育ったまちに「やさしい気持ち」を届ける募金です～

「共同募金(赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金)」は、わたしたちの身近な地域の福祉を応援するための募金として、あらかじめ募金のつかいみちを計画して活動を行う募金運動です。

今年も皆さまの温かいご支援・ご協力をお願い致します。

平成24年度、宇都宮市においてお寄せいただいた募金は、赤い羽根共同募金 37,876,129円、歳末たすけあい募金 20,954,809円となりました。

皆さまの温かいご協力で厚く御礼申し上げます。

募金運動期間

10月1日～
12月31日



募金のつかいみち ありがとうメッセージ

【(社福) 栃木いのちの電話】

誰にも話せない辛い気持ちに寄り添う相談員の研修や、より多くの方にいのちの電話を知っていただくための機関紙の発行、大切な方を自死により亡くされたご遺族の方の「わかちあいの会」運営などに配分金を使わせていただきました。

本当にありがとうございました。
(抜粋)



【(社福) 戸祭保育園】

共同募金の配分を受けて、園舎を建て替える事ができました。新築の香りが残る新園舎で、一体どんな子ども達が育ち、そして巣立っていくのか…今から本当に楽しみです。

共同募金に「ありがとう！」の気持ちをお伝えしたいと思います。(抜粋)



詳しくは、こちらへ

赤い羽根とちぎ

検索

<http://www.akaihane-tochigi.or.jp/>



ぎんなん基金……ご協力ありがとうございました

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

平成25年6月1日～8月31日

寄附順・敬称略

寄附順・敬称略

	寄附者(団体)	金額(円)
6月	バ・ビ・ボの会	20,284
	宇都宮仏教会	30,000
	榊藤吉	24,051
	㈲匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	12,000
	築島時三郎	2,000
	三信電工株	11,770
7月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	25,000
	豊郷ダンススポーツクラブ	5,000
	男の料理入門講座受講生一同	1,322
	男の料理入門講座Ⅰ受講生一同	1,650
	男の料理入門講座Ⅱ受講生一同	2,184
	宇都宮商工会議所 お客様一同	7,264
	河内地区ふれあいカラオケ舞踊ショー 代表者 大塚久雄	14,651
築島時三郎	2,000	
三信電工株	10,310	

	寄附者(団体)	金額(円)
8月	ステップグリーン輝き	3,000
	ステップグリーン姿川	18,600
	シェイクハンズ友の会	20,000
	ステップ希望(のぞみ)会長 石川孝子	14,110
	歌の広場STSロード	20,000
	大塚カラオケ教室	22,068
	㈲匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	10,000
	サンユー山本店 お客様一同	9,881
	匿名	3,000
	築島時三郎	2,000
なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	25,000	
三信電工株	10,430	

今年も老人福祉センターにおまつりの季節がやってきました!

老人福祉センター まつりのご案内



教養講座及び自主講座の受講生等の作品展示・発表会や、地元新鮮野菜の即売会・地域協賛模擬店等、楽しい催し物がもりだくさん! 皆さまのお越しをお待ちしています♪



上河内老人福祉センター 地域の園児による遊戯

上河内老人福祉センター福祉まつり

日時：平成25年10月5日(土)
午前10時～午後2時
場所：上河内老人福祉センター(松田新田町116-1)
電話：674-4003 FAX：674-4258



ことぶき会館 フラダンス

ことぶき会館文化祭

日時：平成25年10月19日(土)～20日(日)
午前10時～午後3時
場所：ことぶき会館(屋板町558)
電話/FAX：656-8792



やすらぎ荘 陶芸

やすらぎ荘文化祭

日時：平成25年10月27日(日)～28日(月)
午前10時～午後3時
場所：やすらぎ荘(宝木本町1991-1)
電話/FAX：665-5284



すこやか荘 編み物

すこやか荘文化祭

日時：平成25年11月8日(金)～9日(土)
午前10時～午後3時
場所：すこやか荘(下砥上町1259-3)
電話/FAX：648-7750



※ 詳しくは、各老人福祉センターまでお問い合わせください。
※ ふれあい荘文化祭は、今年度は都合により中止となります。なお、開館につきましては通常どおりとなっております。